

会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回戸田市立地適正化計画策定委員会		
開催日時	平成30年6月7日(木) 18時30分～20時00分		
開催場所	戸田市役所5階 大会議室C		
委員長等氏名	(委員長) 中井 検裕教授、(副委員長) 大沢 昌玄教授		
出席者氏名 (委員)	別紙のとおり		
欠席者氏名 (委員)	別紙のとおり		
業務受託者	株式会社地域計画建築研究所 山崎		
事務局	大熊部長、金子次長、早川副参事、松本主幹、森谷主任		
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の評価方法及び進行管理について ・戸田市立地適正化計画素案について 		
会議の経過	別紙のとおり		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・平成30年度戸田市立地適正化計画策定委員会名簿 ・立地適正化計画策定に係る検討スケジュール 資料1 ・戸田市立地適正化計画検討委員会及び策定委員会における意見 資料2 ・戸田市立地適正化計画素案(本編) 資料3 ・戸田市立地適正化計画素案(資料編) 資料4 ・戸田市立地適正化計画素案(概要版) 資料5 		
議事録確定	戸田市立地適正化計画策定委員会 委員長 中井 検裕		

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員長	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項 資料1について事務局から説明</p> <p>3 議事「計画の評価方法及び進行管理について」 資料3を用いて、事務局から説明</p> <p>計画目標値について、目標年次を20年後としているが、その間に、おおむね5年ごとにモニタリング指標を用いて評価を行うということによいか。</p>
事務局	<p>計画目標値は10年後に中間計画目標値、20年後に最終計画目標値を設定しているが、計画の見直しを、おおむね5年ごととしているため、評価についても同様に考えている。</p> <p>前回の会議において、定量的な指標を用いて評価すべきという意見をいただいたことから、今回モニタリング指標を新たに設定し、皆様にお示しした。モニタリング指標については、調査頻度が1年、3年、5年、10年と様々なものがあり、毎年得られるデータについては時系列的に用いるものとし、それ以外のものについては、近似値を用いて評価することとしたい。</p>
委員長	<p>市民意識調査は何年ごとに実施しているのか。評価時期とタイミングはあっているか。</p>
事務局	<p>市民意識調査は4年に1回実施しており、評価の時期と一致しないこともあるが、モニタリング指標と同様に、評価時点における最新の調査結果の近似値を使用することとしたい。</p>
委員長	<p>初回の評価は、平成34年(2022年)に評価に関する調査、分析を行い、平成35年(2023年)に見直しを検討するということがよいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>

委員長	<p>計画の見直しにおいて、「何を見直すのか」をある程度考えておいた方がよい。見直しは、「計画目標値の変更」と「施策の進め方の変更」の大きく分けて2つのタイプがある。</p> <p>リーマンショックを例とした、大きな社会・経済情勢の変化など、外的要因による計画目標値の変更はやむを得ないが、施策が順調に進まないことなどによる計画目標値の変更は行うべきではないと考える。</p> <p>計画への記載は不要だが、整理しておいてもらいたい。</p>
事務局	承知した。
委員	<p>本計画の計画目標値を「駅周辺ににぎわいや魅力があると感じる市民の割合」「住み続けたいと感じる市民の割合」という感覚的なものである市民意識の2つに絞っているが、計画を評価する計画目標値として、このような考え方で問題はないのか。</p>
事務局	<p>計画目標値については、都市活動をされている市民の目線を主体として、駅周辺のにぎわいや、市全体での利便性の向上を市民がどう感じるかという観点で設定している。</p> <p>しかしながら、これまで開催されてきた会議において、委員がおっしゃるようなご意見が多々あり、計画目標値を補完する定量的な指標を組み込むべきと考え、今回モニタリング指標を設定させていただいた。計画の評価は、計画目標値の達成状況はもちろんのこと、その達成状況の要因についてモニタリング指標を用いて評価を行っていく考えである。</p>
副委員長	今後、評価・見直しを行う際の体制についてどのように考えているか。
事務局	<p>先に行われた検討委員会においても、同様の質問があった。都市計画審議会に諮る前に、現在開催している策定委員会又は検討委員会を多少コンパクトにした検討組織を立ち上げるといった仕組みづくりを考えている。</p>
副委員長	<p>将来引き継がれた人が大変にならないように、体制を考えておいた方がよい。また、計画の評価は、全市一括で評価することも必要であるが、それだけでは地域ごとの変化・状況が見えないため、地域的な分析も行ってもらいたい。</p>
事務局	承知した。

委員	<p>計画目標値1「駅周辺ににぎわいや魅力があると感じる市民の割合」とモニタリング指標の関係は分かりやすいが、計画目標値2「住み続けたいと感じる市民の割合」とモニタリング指標の関係が分かりにくく感じる。</p>
事務局	<p>本来であれば、3つの観点からそれぞれ計画目標値を設定することが望ましいが、現在、交通に関する指針となる交通マスタープランが策定されていない状況であり、交通に関する計画目標値を設定できない状況にある。住環境と公共交通を合わせて計画目標値を設定しているため、分かりにくく見えるかもしれない。</p> <p>そのようなこともあり、今回、交通に関する指標をモニタリング指標として設定させていただいたところである。計画の見直しの際には、交通に関する目標値を設定することも可能であると考えている。</p>
委員	<p>市民意識調査において、モニタリング指標を束ねたような設問を追加することは可能か。</p>
事務局	<p>今年度の市民意識調査において、項目を追加することは時間的に難しい。おおむね5年後の評価、見直しに向けて、次回の市民意識調査において設問を追加するなどの工夫をしていく。場合によっては、都市整備部独自で調査を行うようなことも必要になるのではと考えている。</p>
委員長	<p>3つのまちづくりの方針に基づいた計画目標値を組めればさらに良かったのだろうが、多少間接的な計画目標値となっているのはやむを得ないだろう。</p>
委員	<p>現在、戸田公園駅周辺は第一種住居地域となっているが、本来であれば商業地域が相応しい地区である。そのあたりは本計画においてどのように整理しているか。</p>
事務局	<p>戸田公園駅西口のまちづくりの動きを捉えながら、必要に応じて用途地域の変更を行っていくことになる。本計画はその後押しとなるよう、都市構造や誘導施設等を定めている。</p>
委員長	<p>一般の人からみると、現在行われている様々な事業が、どの計画に属するのか分かりづらいということで、このような質問が出ていると考える。今後、横のつながりが分かるような説明を心がけてもらいたい。</p>

事務局	<p>立地適正化計画のみならず、関連する計画等の策定作業を進める際にも、それぞれの会議等において、しっかり説明されるよう周知を図っていきたい。</p> <p>4 議事「戸田市立地適正化計画素案について」</p> <p>資料3、4、5、参考資料を用いて、事務局から説明</p>
委員	<p>誘導施策が記載されているが、方針ばかりで具体的に何を行うのか詳細が見えない。</p>
事務局	<p>計画に位置づけている施策内容の多くは、他の個別計画に位置づけられているものが多く、紙面の都合もあり、より具体的な施策の実施内容の記載については、個々の計画に任せている。</p>
委員長	<p>それぞれの施策に紐づく、将来策定も含めた個別計画があるという理解でよいか。</p>
事務局	<p>基本的には何らかの個別計画が紐づいている。</p>
委員	<p>美女木、笹目では、スーパーが閉店し、ドラッグストアに変わるなど、まちの利便性が低下していることから、利便性を高めるための施策を考えてもよいのではないか。</p> <p>また、工場が撤退した跡地の土地利用が変わってしまうこと、住工混在への対応なども必要ではないか。</p>
事務局	<p>住工混在への対応については、本計画で下支えをしていきたいと考えている。また、委員のおっしゃる多くが民と民との関わりの話ではあるが、本計画として対応できる部分については示している。</p> <p>本計画以外の分野に関するものについては、関係部署へ意見としてお伝えさせていただく。</p>
委員	<p>市内に外国人居住者が増えてきている。現在約7千人とも聞くが、その内4割の方が下戸田地区に住んでいる。このことは、居住環境をはじめとした様々な分野に影響してくると考えられる。本計画で外国人の増加に関する対応策を記載することは可能か。</p>

事務局	<p>例えば、川口市の芝園団地における現状等について、テレビや新聞等で報道されていることは、把握している。しかしながら、外国の方に対して市内のどこに居住していただくのか等をこの計画で誘導することはできない。市の支援方策としては、本計画ではなく他の計画、施策において対応していく事項となることから、今後関連する部署へ意見としてお伝えさせていただく。</p>
委員	<p>先に行われた「あいパル」のイベントにおいて、初めて中国やネパールの方が出店されており、商店等の国際化が進んでいることを改めて感じた。また、ある工場の敷地においては、様々な言語で記載された看板があるくらい国際化が進んでいる。</p>
委員長	<p>外国人を含めて、住民が気持ちよく暮らしていくための工夫をどのように行っていくか、丁寧な対応が求められる。</p>
委員	<p>市内の各地域で異なる課題を抱えている。本計画で対応すべきことではないかもしれないが、地域ごとの課題への対応についても考えていく必要がある。</p>
委員長	<p>都市マスタープランの地域別構想においてきめ細かく対応していくことになるのではないかと。</p>
事務局	<p>今後、市の最上位計画である総合振興計画が改定される予定であるため、それを受けた見直しの際に検討することを考えている。</p>
副委員長	<p>今後、自動運転などの近未来技術や、ネット通販の浸透により、急速にライフスタイルが変化する可能性が高いことから、そのような変化についても留意しながら今後の評価、見直しを行っていただきたい。</p>
委員	<p>設定している計画目標値が達成されなかった場合、その原因などをどのように評価するのかが疑問である。例えば、施策誘導方針と計画目標値の関係性が見えにくいと感じる。</p>
委員長	<p>計画目標値が達成されなかった場合、「どの施策が効かなかったのかを分析できるか」との質問かと思うが、現在のところ答えはないと思うので、いただいた意見に留意しながら評価方法などを検討してもらいたい。誘導方針2、3と計画目標値2の関係性には見えにくいところがあるが、</p>

事務局	<p>これは評価時の宿題として受け止めることとしてはどうか。</p> <p>承知した。</p> <p>5 その他 市民パブリックコメント、まちづくりフォーラムの実施概要について事務局から説明</p>
事務局	<p>次回検討委員会については、11月8日（木）に開催を予定している。議事として、パブコメ等を踏まえた立地適正化計画案について議論いただくことを予定している。</p> <p>6 閉会</p>

(別紙) 平成30年度第1回戸田市立地適正化計画策定委員会 出欠席者一覧

区分	所属組織・役職等	委員氏名	出欠席
学識経験者	東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 教授	中井 検裕	出席
	日本大学 理工学部 土木工学科 教授	大沢 昌玄	出席
戸田市町会 連合会	会長（下戸田地区）	金子 清視	出席
	副会長（上戸田地区）	市川 悦夫	欠席
	副会長（新曽地区）	駒崎 繁夫	出席
	副会長（笹目地区）	坂下 正直	出席
	副会長（美女木地区）	渡辺 侑造	出席
関係機関	とだわらび青年会議所	菅原 啓太	欠席
	戸田市社会福祉協議会	田中 庸介	出席
	戸田市商工会	田中 治夫	出席
公募市民	—	江崎 奈穂子	欠席
	—	小森 昌樹	欠席
	—	西塔 幸由	出席